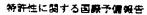
特 許 協 力 条 約

PCT

特許性に関する国際予備報告(特許協力条約第二章)

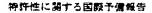
(法第12条、法施行規則第56条) [PCT36条及びPCT規則70]

出願人又は代理人 の書類記号 A211-02/PCT	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。			
国際出版番号 PCT/JP03/14854	国際出題日 (日.月.年) 20.11.2003 優先日 (日.月.年) 29.11.2002			
国際特許分類 (IPC) Int. Cl' Cl2N15/09、C07K14/47、C07K16/18、Cl2N5/10、Cl2P21/08、A61K38/17、A61K39/395、A61K48/00、A61P31/12、A61P35/00、A61P37/08				
出顧人 (氏名又は名称) 独立行政法人科	学技術 投 興機構			
法施行規則第57条(PCT36条)の	さこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。 - の規定に従い送付する。 - 公一ジからなる。			
3. この報告には次の附属物件も添付されている。 a × 附属書類は全部で 3 ページである。				
※ 補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面の用紙(PCT規則70.16及び実施細則第607号参照)				
第1個4.及び補充機に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙				
b × 電子媒体は全部で ディ 配列表に関する補充欄に示する ブルを含む。(実施細則第80	うに、コンピュータ読み取り可能な形式による配列表又は配列表に関連するテー			
4. この国際予備審査報告は、次の内容を	:合む.			
 ※ 第1個 国際予備審査報告の基礎 第1個 優先権 第1個 優先権 第1個 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成 第17個 売明の単一性の欠如 ※ 第2個 戸CT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明 第2個 ある種の引用文献 第2個 国際出願の不備 第2個 国際出願に対する意見 				
国際予備審査の請求審を受理した日 16.03.2004	国際予備審査報告を作成した日 07.07.2004			
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区歳が関三丁日48	・ 特許庁審査官 (権限のある職員) 4N 8412 田 村 明 照			



国際出願番号 PCT/JP03/14854

第 [欄 報告の基礎	
1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほ	か、国際出願の言語を基礎とした。
この報告は、	
PCT規則55.2又は55.3にいう国際予備審査	
2. この報告は下記の出顧書類を基礎とした。(法第65 た芝替え用紙は、この報告において「出顧時」とし、この	を(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出され D報告に添付していない。)
出願時の国際出願書類	
※ 明細書第 1-65 ページ、第 ページ。	出願時に提出されたもの
第 ベージャ、	付けで国築予備審査機関が受理したもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの
第 項*、 第 1-10 項*、	- 出願時に提出されたもの PCT19条の規定に基づき補正されたもの 23.06.2004 付けで国際予備審査機関が受理したもの
第 項•、	付けで国際予備審査機関が受理したもの
	出願時に提出されたもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの
× 配列表又は関連するテーブル 配列表に関する補充機を参照すること。	
3. × 補正により、下記の書類が削除された。	
□ 明細書 第 ※ 請求の範囲 第 11-22	<u></u> ベージ 項
□ 図面 第 □ 配列表(具体的に記載すること)	ページ/図
配列表に関連するテーブル(具体的に記載す	でること)
4 この報告は、補充欄に示したように、この報告に えてされたものと認められるので、その補正がさ	添付されかつ以下に示した補正が出願時における陽示の範囲を超れなかったものとして作成した。 (PCT規則70.2(c))
明細書 第	<u></u> ベージ
請求の範囲 第	
□ 配列表に関連するテーブル(具体的に記載す	ること)
·	
* 4. に譲当する場合、その用紙に "superseded" と記え	くされることがある。



国際出版番号 PCT/JP03/14854

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、 それを裏付ける文献及び説明				
1. 見解				
新規性(N)	請求の範囲 請求の範囲	1 - 7 8 - 1 0		
進歩性(IS)	請求の範囲 請求の範囲	1 - 7 8 - 1 0	— 有 — 無	
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲 請求の範囲	1-10	有 無	

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

文献 1 : WO 02/053737 A1 (ASAHI KASEI) 2002.07.11 & EP 1354950 A1 & US 2003/0143540 A1 & US 2003/0170719 A1 SEQ ID NO 151-154参照

請求の範囲1-7

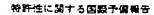
請求の範囲1-7に記載された発明は、国際調査報告で引用された文献1に対して新規性及び進歩性を有する。

文献1には、本願の配列番号2又は配列番号4に示されるアダプタータンパク質 TICAM-1及びToll様受容体3の両者を発現する細胞が記載されておらず、しかもその点は当業者といえども容易に想到し得ないことである。

請求の範囲8-10

請求の範囲8-10に記載された発明は、国際調査報告書に引用された文献1により新規性、進歩性を有しない。

文献1には、NF-κBを活性化する作用を有するタンパク質をコードする cDNAをクローニングし、同DNAにより形質転換された細胞を用いてNF-κBの活性化を阻害または促進する物質をスクリーニングすることが記載されている。として、本顧の配列番号2のアミノ酸配列は文献1の配列番号154と同一であり、本願の配列番号4のアミノ酸配列は文献1の配列番号152と同一であり、文献1には、これらのタンパク質が自己免疫疾患、癌疾患、感染症等に対する下、な医薬の開発あるいは治療法の開発に寄与することが記載されている。一般に、生理活性タンパク質が特定の疾病に関連していることが判明すれば、そのタンパク質自体、アゴニスト、アンタゴニスト等の生理活性タンパク質の活性を制御できる関連物質の全てが当該疾病の治療薬の候補となり得ることは当業者に自明である。



国際出願番号 PCT/JP03/14854

配列表に関する補充機				
第1備2.の続き				
 この国際出願で第示されかつ請求の範囲に係る発明に必要なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、 以下に基づき国際予備報告を作成した。 				
a. タイプ	×	配列表		
		配列表に関連するテーブル		
b. フォーマット		春面		
	×	コンピュータ読み取り可能な形式		
c. 提出時期		出願時の国際出願に含まれる		
	X	この国際出願と共にコンピュータ読み取り可能な形式により提出された -		
		出願後に、調査又は予備審査のために、この国際機関に提出された		
		付けで、この国際予備審査機関が補正●として受理した		
2. × さらに、配列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出した配列が出願時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。				
3. 補足意見:				
		·		
		·		
*第1欄4.に該当す	'る場合、	、差替える配列表又は配列表に関連するテーブルに"superseded"と記入されることがある。		